花だより　No.26
2017年　夏号

さいわい花だより

さいわい福祉センター　　所長　　飯島　一憲

いよいよ本格的な夏がやってきました。センターでも夏の電力省力化の一助と思い、事務室のある一角にゴーヤのカーテンを引いています。「緑」を見ているだけでも、清涼感を味わえるところです。

さて、東久留米市においては、今年度２回目の「東久留米市地域自立支援協議会」が６月２２日に開催されました。

市では「東久留米市地域福祉計画」が策定されており、現在、第４期障害福祉計画（平成２７年～２９年度）が施行されています。そのような中、今年度の自立支援協議会では主に、第５期障害福祉計画（平成３０年～平成３２年）について審議し、作り上げていく作業を行っています。次年度からの計画ということで、早急につくりあげることが求められています。

内容については、障害のある方々のサービスに直結するものでもあるため、とても大切な会議になるかと思います。充分な審議を尽くしていきたいと思います。

発　行：東久留米市立
さいわい福祉センター
責任者：飯島　一憲

〒203-0052　東京都東久留米市幸町３－９－28
TEL　042－477-2711
FAX　042－477-2750
URL　http://www1a.biglobe.ne.jp/saiwai-higashikurume/

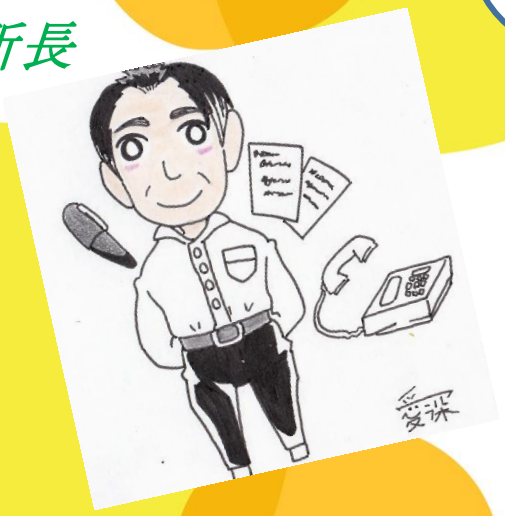
新任職員紹介

この４月に異動でさいわい福祉センターの所長に着任致しました、飯島一憲（いいじまかずのり）と申します。平成８年から９年間ほど職員として関わりを持たせていただき、この度、所長としてまたお世話になることになりました。

好きな言葉があるのですが、映画解説者の淀川長治（よどがわながはる）さんが言った「私はいまだかつて嫌いな人に会ったことがない。」という言葉です。どんな人にも前向きに付き合いましょうという意味だそうです。人とのお付き合いをする上で心に刻んでいる言葉になっています。

どうぞ、よろしくお願い致します。

所長



法人内の異動により、この４月からさいわい福祉センターで働くことになりました、市川愛子（いちかわあいこ）と申します。

この仕事に就くことを目指して福祉を学んでいた大学時代は、レスリングに打ち込んでいたので、体力には自信があります！

さいわい福祉センターを利用される皆さまに、安心、安全、快適をお届けするためのお役に立てるよう、精一杯がんばっていきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

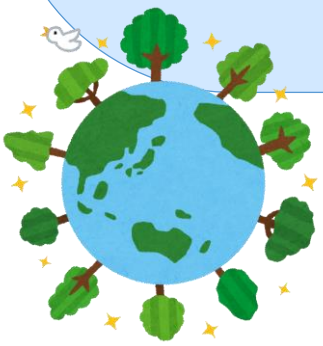
防犯訓練を行いました！

2016 年 7 月 26 日に起きた、神奈川県にある障害者入所施設で元職員が入所者や職員を殺傷した事件から約 1 年を迎えます。この年の 4 月に障害者差別解消法が施行されたばかりであったのにも関わらず、このような悲惨な事件が起きたことで、拍車をかけるように様々な論争が繰り広げられ、それにまた悲憤した障害者の方、ご家族、支援者の方も多いのではないでしょうか。

この事件を受け、火急の際に備え、さいわい福祉センターでも昨年から防犯訓練を行っています。不審者や危険物を所持した人が来所したらどう対処すべきかなど職員同士で話し合いました。また今回は実際に警察の方をお招きし、建物の防犯設備のアドバイスや身を守る手段を教えて頂きました。「もし、手を掴まれたら…」や「もし、胸倉をつかまれたら…」などのシチュエーションで、女性でも身を守れる合気道の技をいくつか紹介して頂き、職員同士で組手をしました。組手はしましたが、実際に事が起きた場合はやはり最初は安全な場所に逃げて、ご利用者や職員自身の身を守ることが優先というお話でした。

自然災害ならまだしも、誰かの悪意が向けられてという想定で自衛や訓練をするということが、本当に残念でなりません。

1 年前の悲劇が、もう 2 度と起こらないよう、職員一同願っております。



勉強会を行いました！

さいわい福祉センターでは「安心・安全・快適に」をモットーにご利用者と関わっております。今回、基本的な嚥下のメカニズムを学び、安全においしく食事が出来るよう、「嚥下」の勉強会を行いました。ご利用者によって食事の形態がミキサー食なのか、ミキサー食でも荒く刻んだものなのか、ペースト状のものなのか…どの形が美味しくて安全に食べられるのか職員で話し合い、実際にお弁当をミキサーしたり、試食しました。そして職員同士で、不快な介助・心地よい介助を体験し、ご利用者を不快な思いにさせない介助というものを再確認しました。

引き続き「安心・安全・快適に」に加えて、より良い支援が提供できるように職員一同精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

お知らせ

夕涼み会

2017年8月5日（土）17:00～20:00

東京学芸大学附属特別支援学校第一グランド※雨天決行

17:00～　模擬店販売開始　　19:30～　打ち上げ花火

「障害があってもなくても、この街で安心して暮していく、
私たちの働く場や生活していく場を増やそう」

をスローガンに、障害者の方と地域の交流の場として始まった夕涼み会も２５年目を迎えました。東京学芸大学附属特別支援学校と障害者施設１５団体で企画運営しています。さいわい福祉センターもお好み焼きで出店しています♪

東久留米市唯一の打ち上げ花火をはじめ模擬店や招待団体によるステージなど楽しい催し物を用意して皆様のお越しをお待ちしております！！

ちょっと Break

私の家にはもうすぐ６歳になる男の子のミックス犬が一匹います。彼とはインターネットの里親募集で出会いました。犬を多頭飼いしていた家が世話をしきれなくなり、埼玉県の動物保護センターが介入して生後約２ヶ月の子犬５匹を保護しました。そのうち２頭は個人譲渡が決まり、２頭は保護センターの子犬譲渡の対象となりました。１匹だけ行き先が決まらなかった子が今のうちの子です。彼は尻尾の先が禿げていたため、譲渡の対象から外れてしまったそうです。「そんな理由で…」と思いました。つまらない理由で捨てられてしまう命があるのだと痛感した出来事でした。家族と相談し、我が家に迎え入れることを決めました。

保健所での保護期間は 10 日程度です。全ての命を助けたいなんて大きなことは言えませんが、自分の手の届く範囲で出来る限りのことをすることが誰かの助けになるのではないかと、間の抜けた彼の寝顔を見ながらぼんやりと思うのです。彼が元気に走り回ってくれていることで、私は充実した楽しい日々を送らせてもらっています。『情けは人の為ならず』。彼を家族に迎えた事で私も沢山助けられています。いつもありがとう。

余談ですが、処分対象となった原因の尻尾の禿げですが、数か月でフサフサになり、今は毛ばたきのようになっています。

（宮川）

ご協力下さい

センターではペットボトルのキャップを回収し、リサイクルを行っている事業所に納品をしています。キャップはリサイクルされ、その対価が発展途上国の子供たちのワクチン代になるような取り組みを行なっております。

ご家庭に不要なペットボトルのキャップはございませんか？　ございましたら是非センターにお持ち下さい☺

募集！

介護人＆同行援護従業者募集！！

平日や休日にご利用者と一緒に過ごしたり、外出をしたりしてみませんか？
ご利用者と関わり、地域での繋がりを深めてみませんか？

○介護人

内容：平日や休日にセンターでご利用者と一緒に遊んだり、お話などをして過ごします。9:00～18:00 の時間の中で、自分の時間に合わせてお仕事をする事ができます。
資格のない方もお気軽にお問い合わせください。※施設内研修あり

時給：940 円

○同行援護従業者

内容：視覚に障害をお持ちの方の外出に同行し、ご利用者を目的地までご案内します。
資格：同行援護従業者養成研修修了者、65 歳までの方
時給：1000 円～
　地域で暮らす目の見えない方、見えにくい方の外出支援をするヘルパーさんを募集しています。
　同行援護従業者養成研修を修了された方、お手伝い頂けませんか？
「資格は取ったけど、仕事をする機会がなくて…」、「空いた時間しか手伝えないけど･･･」という方も大丈夫です。興味のある方、是非お問い合わせ下さい。

働くための訓練をしませんか？

内容：就労移行支援事業（通称ピッコログループ）は随時、ご利用者の募集をしています。就労を目指す障害のある方に対し、社会に必要なマナーを身に付けたり、様々な作業や訓練・職場実習を通すことによって働くために必要な力を身に付けて頂き、支援・応援する事業です。訓練期間は最長２年間です。

下の写真にもあるワークサンプル（幕張版）は障害者職業総合センターの開発したものを導入しています。また、日本社会事業大学の効果のあがる就労移行支援プログラムのあり方研究会に参加協力をして、より質の高いサービスを提供できるよう研鑽をしています。

対象者：東久留米市在住の 18 歳以上の方で、以下のいずれかに当てはまる方

・愛の手帳 3 度もしくは 4 度をお持ちの知的障害の方

・発達障害の方

ピッキングという作業をしています

ワークサンプル

心をこめて綺麗にします

清掃作業

礼儀と体力を身につけます

エアロビクス

畑作業

採れた野菜は玄関で販売します

パソコン作業

今や必須のビジネススキルです

生活学習

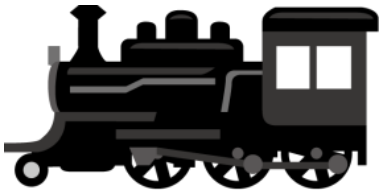
この回は食生活について学んでいます

☆東久留米トリビア☆

東久留米の偉人　神藤庄太郎氏（じんどう　しょうたろう）

東久留米駅は大正４年(1915 年)4 月 15 日に開業しました。武蔵野鉄道(西武池袋線)の開通と同時に開業されましたが、池袋～所沢間は５駅しかありませんでした。その中に東久留米が入っていたとは驚きですね。(他は東長崎、練馬、石神井、保谷でした。)

しかし当初、東久留米駅は計画されていませんでした。東久留米駅実現に尽力されたのが神藤庄太郎氏です。神藤氏はご自分の土地 3,200 坪を無償提供し、東京へ陳情に何度も足を運びました。当時は東京へ出るのも一日がかりの行程でしたが、５年に渡る交渉の末に誘致に成功したのです。神藤氏の功績を讃えて、東久留米駅北口にある武蔵野稲荷神社に銅像が建てられました。亡くなってもなお、東久留米駅の発展を見守り続けています。



スズラン

花言葉「純粋」

編集後記

新年度が始まって、もうすぐ３ヶ月が経ちました。

私は入職して３年目になりますが、日頃から心掛けていることがあります。それは、「初心忘るべからず」ということわざです。

３年目になり仕事に少しずつ慣れてきて、ご利用者との関係が築けてきたところですが、まだまだ勉強不足な部分が多いです。利用者主体の支援とはどういったことなのか、日々考えています。実際に利用者主体の支援をするには、ご利用者の考えや感じている事を支援者がいかに汲み取れるかが大事だと私は思います。毎日同じ活動をするのではなく、ご利用者がやりたい事や、新しく何かを始めてみたりして小さな変化があると、ご利用者の考えや感じている事が少しだけでも理解出来るのではないかと私は考えています。日々の支援にあたり、ご利用者に対してお願いをする時に命令口調になっていないか、失礼な言葉遣いになっていないかなど、あくまで「生活を支援している」ということを忘れずに接するよう心掛けています。

この仕事を始めた時、右も左もわからない中での支援でしたが、毎日新鮮な気持ちでご利用者と関わってきました。今後も支援者の自己満足にならないように、初心を忘れず「純粋」な気持ちで、常にご利用者の事を考えて支援して参ります。　（秋本）